

第3学年 算数科学習指導案

Step	A	B	C
場所	3年1組	3年2組	本時公開なし
授業者	水野 由子	松田 美香	(渡邊 良夫)
児童数	10人	20人	26人

1. 単元名 「小数」

2. 指導の立場

(1) 単元について

本単元のねらいは、次の通りである。(学習指導要領解説 算数編A (5) 小数の意味や表し方)

(5) 小数の意味や表し方について理解できるようにする。

ア 端部分の大きさを表すのに小数を用いること。また、小数の表し方及び $\frac{1}{10}$ の位について知ること。

イ $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

児童は1学期までは整数の範囲で四則計算を行ってきたが、「分数」の学習を行うことで、整数では表せない端部分の数まで数の概念を広げることとなった。1Lに満たないはしたの数を、「1Lをn等分したいいくつ分」と考えLを単位とする分数で表してきた。その中で、立式の根拠として線分図をかいたり、計算方法を説明するために面積図をかいたりしてきた。

「分数」では、同分母分数の加法や減法の計算を行ってきた。 $3/5 + 1/5$ では、「 $3/5$ は $1/5$ の3こ分、 $1/5$ は1こ分。あわせると $3 + 1 = 4$ 。これは $1/5$ が4こ分ということだから答えは $4/5$ です。」というように、もととなる分数のいくつ分で考えればこれまでの整数の加法や減法のように計算できることを学習してきた。

本単元では、新しく「小数」を学習する。「分数」では1を何等分するかによって基となる数が変わってきたが、「小数」ではいつも0.1を単位とすれば、これまでの整数の計算と同じように計算できる。特に純小数では「0.1の□こ分」ということは容易に理解できるだろう。しかし、帯小数となると多くの児童がつまずくと考えられる。そこで、面積図を切り離したものを操作したり、数直線にかき込んだりする算数的活動を通して、「0.1の□こ分」という表現を使って十分に理解を図るようにしたい。

(2) 児童の実態

単元に入る前にレディネステストを行い、その結果と本人の希望をもとに習熟度別コース(Astep Bstep Cstep)を編成した。レディネステストの結果は次の通りである。(数字は全問正解人数と割合)

問題	Stepと人数		Astep (10)		Bstep (20)		Cstep (26)	
① 2位数の足し算や引き算ができる。 $13 + 54$ 、 $63 + 18$ 、 $81 - 25$	4人	40%	16人	80%	23人	88%		
② 1dLや1mmはそれぞれ1Lや1cmを10等分したひとつ分であることが分かる。	2人	20%	9人	45%	24人	92%		
③ 1を10等分したひとつ分が $1/10$ 、10等分した7つ分が $7/10$ であることが分かる。	3人	30%	14人	70%	23人	88%		

① 全体として、加法は繰り上がりがあっても計算ができるが、繰り下がりのある減法ではミスが目立った。理解ができているはずのCstepの児童にもうっかりミスが見られる。Astepの児童にいたっては、指を使ったりじっと考えたりしている姿が見られた。また、繰り下がりの際に8を7にせずにそのまま計算してしまい、 $81 - 25 = 66$ とした児童もいた。

- ② 1mmが10個集まると1cm、1dLが10個集まると1Lという考えはできるのだが、「1dLは1Lと同じかさに□個に分けた1つ分のかさ」というように、逆の考え方になると戸惑ってしまう。Astepの児童にとっては、言い回しが変わるだけで抵抗が大変強くなる。
- ③ 「1Lを同じかさに10こに分けたひとつ分」という問題では、L図には表すことができて、分数で表す際にそのまま1Lと書いてしまうミスがあった。その児童は、同様に「10こに分けた7つ分」でもそのまま7Lと答えている。L図を確認しながら、何を答えるのかを明らかにする援助が必要である。

3. 主題研との関わり

主体的に学習する子の育成

～基礎・基本の確かな定着を図る算数科学習～

(1) 学習目標に応じた指導の工夫

本時は「数学的な考え方」を評価規準とする学習である。「問題提示→課題設定→個人追究→全体交流→まとめ・練習問題」という学習過程②（問題解決型）のパターンで学習するが、りんご問題に抵抗があると考えられるので、始めの問題とりんご問題について全体交流を行う。初めての小数によるひき算の学習なので、線分図や面積図を有効に使って、0.1のいくつ分で考えればよいことの理解を深めたい。

(2) 習熟度に応じた指導の工夫

A step	B step	C step
- 実際に面積図を動かしながら考える算数的活動を通して、$0.6 - 0.2$は0.1をもとにして考えれば6-2の計算で答えが求められることを、教師とともに見つけ出せるようにする。 - 面積図から線分図につなげることで理解しやすいようにする。 - 前時の学習内容「小数のたし算」を掲示しておく。 1枚の問題数を少なめにしたプリントを準備し、意欲を持って取り組めるようにする。	- 考えのもてない児童は呼び寄せ指導を行い、線分図に書き込む算数的活動を通して、0.1のいくつ分で考えればよいことを見つけて出せるようにする。 - 前時の学習内容「小数のたし算」を掲示しておく。 - 練習問題では、ポイントとなる問題は教師が確認しながら進め、チャレンジ問題は各自で進められるようにする。	- 自分でノートや掲示物から前時の学習を想起し、考えを書くようにする。考えがもてた子から交流を行う。 - 前時の学習内容「小数のたし算」を掲示しておく。 - 練習問題は、各自で答え合わせをしながら進め、多くの問題に取り組む。

(3) 伝え合う中で考えを深める指導の在り方

A step	B step	C step
面積図を操作しながら繰り返し話し、「0.1のいくつ分」という言葉を使って説明できるようにする。「0.6は0.1の6こ分、0.2は0.1の2こ分です。だから、0.1をもとにして考えると式は$6 - 2 = 4$。0.1が4こで0.4。だから答えは0.4Lです。」	ペア交流を取り入れ、ノートに書いた線分図の目盛りを指し示しながら、「0.6は0.1の6こ分、0.2は0.1の2こ分」と説明できるようにする。	考えのもてた児童から、交流相手を見つけて自由にペア交流を行う。ノートを示しながら「0.6は0.1の6こ分、0.2は0.1の2こ分」と説明できるようにする。

4、単元指導計画（全13時間）

<既習の内容との関連と本単元の評価規準>

【前単元までに身に付けてきた内容】

【本単元の評価規準】

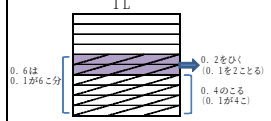
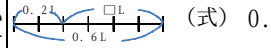
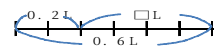
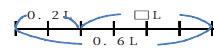
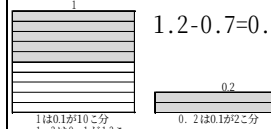
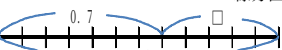
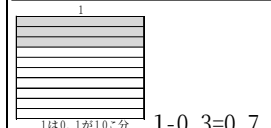
【今後の学習へのつながり】

2年「1000より大きい数」 ・1000までの数の数直線表示と順序，系列，大小比較 3年「分数」 ・分数の意味と表し方，読み方 ・分数のしくみ，順序，系列，大小比較 ・「不等号」の用語と意味 ・和が1までの同分母分数の加法とその逆の減法	関心・意欲・態度 ・小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき，進んで生活や学習に活用しようとしている。	数学的な考え方 ・端数部分の大きさを表すとき，整数の十進位取り記数法の考えや分数の等分したいくつ分の考え方をもとにして新たな単位（0.1）をつくり，そのいくつ分で表すなど，拡張して考えている。 ・小数と分母が10の分数の大きさについて，数のしくみに目を向け，大小比較のしかたを考える。 ・1/10の位までの小数の加法及び減法の計算を，整数の計算をもとに考え，具体物や図や式を用いて答えを求めたり，考えを深めたりしている。	技能 ・端数部分の大きさを小数を用いて表したり，大小比較をしたりすることができる。 ・1/10の位までの小数と分母が10の分数の大小比較や1/10の位までの小数の加法及び減法の計算ができる。	知識・理解 ・小数の意味や表し方，構成，順序，系列，整数や分数との関係がわかる。	4年「小数」 5年「整数と小数」
--	--	---	---	---	---------------------

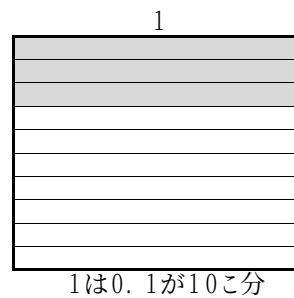
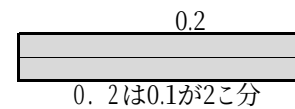
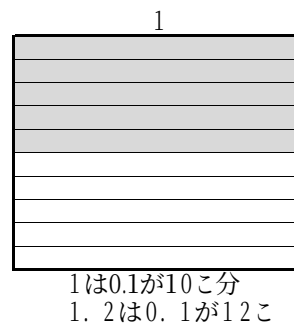
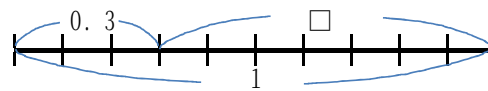
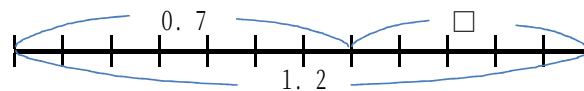
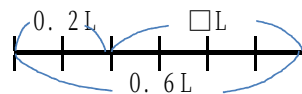
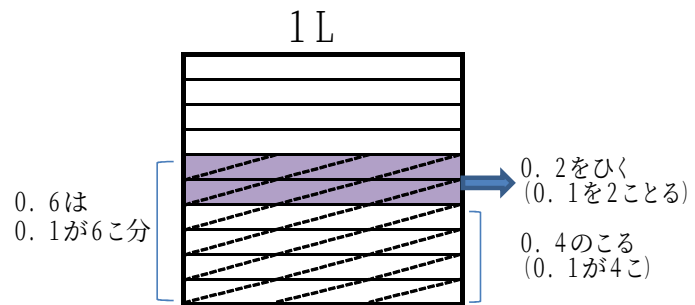
小単元	はしたの大きさの表し方		小数のしくみ			
時	1	2	3	4	5	6
中心問題	ポットに入っている水のかさを，1Lですではかったら，上のように2Lとあと少しはしたがありました。水のかさは全部で何Lといえましょう。	テープの長さは，何cmといえましょう。	0.7Lと2.6Lを数の線にあらわしましょう。	数の線を使って，2.4について調べましょう。	次の数を，小さいじゅんに書きましょう。1.2 0.8 2.1 0.5 1	6/10と0.7では，どちらが大きいでしょう。
評価規準	1Lに満たないはしたのかさの表し方に関心をもち，どのように表したらよいか考えようとする。（関心・意欲・態度）	複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すことができる。（技能）	「小数」「小数点」「1/10の位」「小数第一位」「整数」の用語とそれらの意味がわかる。（知識・理解）	数直線上に小数を表したり，表された小数をよんだりすることができる。（技能）	小数の大小比較をすることができる。（技能）	小数と分数の関係をもとに，大小比較の仕方を考える。（数学的な考え方）
授業展開	②問題解決型 習熟度	① 習得型 習熟度	① 習得型 習熟度	① 習得型 習熟度	① 習得型 習熟度	② 問題解決型 習熟度
主なつまずき	はしたのかさを分数で表すことができない。	1mmが1cmを何等分した長さか分からない。	1Lの1/10を0.1Lと表すことができない。	1目盛りが0.1であることが分からない。	数直線でくらべることができない。	分数を小数にすることができない。小数を分数にすることができない
本時の展開	1問題を理解する。 ・1Lを10等分したうちの1つ分を0.1Lと表し，れい点ーリットルと読むことを知る。 2課題をつかむ。 Lだけの単位を使って，はしたのかさを表そう。 3自分の考えをもつ。 A1Lますを10等分した具体物を使って考えられるようにする。 C目盛りをつけて0.1のいくつ分になるか考えられるようにする。 4考えを交流する。 ・1÷10L=0.1Lを確かめる。 ・2Lと0.3Lを合わせたかさの読み方を知る。 5りんご問題に取り組む。 6まとめる。 0.1のいくつ分かを考えれば，小数で表すことができる。 7練習問題に取り組む。 P21 りんご問題・鉛筆1・2	1問題を理解する。 ・長さは8cm6mmであることを確認する。 2課題をつかむ。 長さをcmの単位で表そう。 3自分でやってみる。 ・1cmの10等分した1つ分が1mmであることから，前時のかさと同様に小数が使えないか考える。 4交流する。 ・1mm=0.1cmであることを押さえる。 5まとめる。 0.1cmのいくつ分かを考えれば，cmで表すことができる。 6練習問題に取り組む。 P22 鉛筆問題3・4 Aものさしの目盛りで数えながら考えられるようにする。 C補充プリントの問題に取り組む。 7振り返る。	1問題を理解する。 ・1目盛りが0.1であることを確認する。 2課題をつかむ。 小数を数の線に表し，小数について知ろう。 3自分でやってみる。 ・0.1のいくつ分か考える。 4交流する。 ・小数，小数点，1/10の位，小数第一位，整数ということを知る。 5まとめる。 小数点のすぐ右の位を1/10の位といい小数第一位という。 6練習問題に取り組む。 P23 りんご問題 鉛筆問題1 A数直線版や小数の位取り版で確認しながら考えられるようにする。 C整数の場合との共通点を考えられるようにする。 7振り返る。	1問題を理解する。 ・数直線ということを知る。 2課題をつかむ。 小数を数直線に表したり，表された小数をよんだりしよう。 3自分でやってみる。 ・数直線に小数を表す。 ・0.1のいくつ分か考える。 4交流する。 ・小数も同じ位の数が10こ集まると位が1つ上がる。 5まとめる。 0.1を1目盛りとして，数直線に表すことができる。小数も同じ位の数が10こ集まると位が1つ上がる。 6練習問題に取り組む。 P24 鉛筆問題2・3・4 A数直線版で確認しながら考えられるようにする。 C補充問題に取り組む。	1問題を理解する。 ・数直線を使ったり，0.1を単位として考えたりするとよいことを確認する。 2課題をつかむ。 小数の大小をくらべよう。 3自分でやってみる。 ・数直線や0.1のいくつ分や不等号で考える。 4交流する。 ・分数と小数を比べる場合を考え，どちらかにそろえるとよいことを確認する。 5まとめる。 小数の大小も整数と同じように上の位からくらべていくことができる。 6練習問題に取り組む。 P25 鉛筆問題5 問題4 A数直線や0.1のいくつ分かを考えられるようにする。 C補充問題に取り組む。 7振り返る。	1問題を理解する。 ・そのままではくらべられないことを確認する。 2課題をつかむ。 分数と小数のくらべ方を考えよう。 3自分の考えをもつ。 A分数と小数の数直線を使って考えられるようにする。 C分数を小数にしたり，小数を分数したり数直線を使ったりして説明できるようにする。 4考えを交流する。 ・小数か分数のどちらかにそろえる。 ・数直線上に表す。 5まとめる。 分数と小数をくらべるときは，どちらかにそろえるとよい。 6 P26「数のみかた」に取り組む。 7振り返る。
身に付けさせたい表現	0.1Lの3つ分は0.3Lです。	0.1cmの6つ分の長さは0.6cmです。	2.6の1/10の位の数字は6です。	2.4は0.1を24こ集めた数です。	1/10は0.1と同じ大きさです。	6/10は0.6だから，0.7の方が大きい。
既習学習の活用	・1L=10dL ・1Lを同じかさに10こに分けた1つ分は1dL	・0.1Lの3つ分は0.3L	・0.1Lの3つ分は0.3L	・数の線に小数を表したり，表された小数をよんだりする。	・数直線に小数を表したり，表された小数をよんだりする。	・1/10は0.1と同じ大きさ

小単元	小数のたし算とひき算				練習 きほんのたしかめ, やってみよう		
時	7	8 本時	9	10	11	12	13
中心問題	ジュースが0.5L入っているパックと, 0.3L入っているパックがあります。1つのびんに入れると, 何Lになるでしょう。	パックに牛乳が0.6Lありました。ケーキをつくるのに, 0.2L 使いました。パックの中の牛乳は, 何L になったでしょう。	スポーツドリンクが3.5L入っている入れ物と2.8L入っている入れ物があります。1つの入れ物に入れると, 何Lになるでしょう。	スポーツドリンクを6.3L持ってきました。4.7L 飲んだあとは, 何L 担っているでしょう。			
評価規準	0.1のいくつ分という見方をもとにして, 小数の加法の計算方法を説明する。(数学的な考え方)	0.1のいくつ分という見方をもとにして, 小数の減法の計算方法を説明する。(数学的な考え方)	1/10の位までの小数の加法の計算を筆算でできる。(技能)	1/10の位までの小数の減法の計算を筆算でできる。(技能)	小数の大小比較や加減の計算をすることができる。(技能)	小数の加法, 減法の計算をすることができる。(技能)	
授業展開	②問題解決型 習熟度	② 問題解決型 習熟度	① 習得型 習熟度	② 習得型 習熟度	① 習得型 習熟度	① 習得型習熟度	
主なつまづき	0.1 が 10 こで1になることがわからない。	1は0.1の10こ分ととらえることができない。	位をそろえて書くことができない。	位をそろえて書くことができない。繰り下がりを忘れている			
本時の展開	1問題を理解する。 ・題意をつかみ, 立式する。 2課題をつかむ。 小数+小数の計算の仕方を考えよう。 3自分の考えをもつ。 ・面積図や線分図や 0.1 のいくつ分の考え方で考える。 4考えを交流する。 A1L ますを10等分した面積図を使って考えられるようにする。 C 0.1をもとにして考えて, 図や言葉などで計算のしかたを説明できるようにする。 5確かめる。 問題2・りんご問題 6まとめる。 小数のたし算は0.1のいくつ分で考えて計算すればよい。 7練習問題に取り組む。 P28 鉛筆問題1 8振り返る。	1問題を理解する。 ・題意をつかみ, 立式する。 2課題をつかむ。 小数-小数の計算の仕方を考えよう。 3自分の考えをもつ。 ・面積図や線分図や 0.1 のいくつ分の考え方で考える。 4考えを交流する。 5確かめる。 問題4・りんご問題 A1L ますを10等分した面積図を使って考えられるようにする。 C 0.1をもとにして考えて, 図や言葉などで計算のしかたを説明できるようにする。 6まとめる。 小数のひき算は0.1のいくつ分で考えて計算すればよい。 7練習問題に取り組む。 P29 鉛筆問題2 8振り返る。	1問題を理解する。 ・立式する。 2課題をつかむ。 繰り上がりのある小数のたし算の筆算をしよう。 3自分でやる。 ・位をそろえるには, 小数点をそろえることを確認する。 4交流する。 ・筆算の手順を確認する。 5確かめる。りんご問題 6まとめる。 繰り上がりのある小数のたし算の筆算は, 小数点をそろえて整数と同じように計算すればよい。 7練習問題に取り組む。 P31 鉛筆問題3 A 小数点をそろえて計算できるようにする。 C 補充問題に取り組む。 8振り返る。	1問題を理解する。 ・立式する。 2課題をつかむ。 繰り下がりのある小数のひき算の筆算をしよう。 3自分でやる。 ・位をそろえるには, 小数点をそろえることを確認する。 4交流する。 ・筆算の手順を確認する。 5確かめる。りんご問題 6まとめる。 繰り下がりのある小数のひき算の筆算は, 小数点をそろえて整数と同じように計算すればよい。 7練習問題に取り組む。 P31 鉛筆問題4 A 小数点をそろえて計算できるようにする。 C 補充問題に取り組む。 8振り返る。	1小数の表し方, 構成 2小数の大小比較 3小数の加法, 減法の計算 4小数の減法の適用 5小数の加法の適用	1小数の構成, 記数法 2小数の数直線表示 3小数の加法, 減法の計算 4小数をさがそう	評価テスト
身に付けさせたい表現	0.5は <u>0.1の5こ分</u> , 0.3は <u>0.1の3こ分</u> , 合わせて <u>0.1が8こ分</u> だから0.8	0.6は <u>0.1の6こ分</u> , 0.2は <u>0.1の2こ分</u> , のこりは <u>0.1が4こ分</u> だから0.4	0.1をもとにして考えると, 3.5は <u>0.1が35こ</u> 2.8は <u>0.1が28こ</u> たすと <u>0.1が63こ</u> だから6.3	0.1をもとにして考えると, 6.3は <u>0.1が63こ</u> 4.7は <u>0.1が47こ</u> ひくと <u>0.1が16こ</u> だから1.6			
既習学習の活用	・0.5は0.1の5こ分	・0.6は0.1の6こ分,	・3.5は0.1が35こ	・6.3は0.1の63こ			

5. 本時について (8/13)
(1) 本時の目標 小数第一位までの小数の減法の計算では、0.1のいくつ分で考えれば、整数の減法と同じように計算できると考え、説明することができる。

(2) 本時の展開							
過程	ねらい	A step		B step		C step	
つかむ	本時の学習の内容をつかむことができる。	1. 問題を理解する。→ (前時の内容を掲示しておく。 A 面積図を準備する。) ・ 問題の内容をつかむ。(分かっていること、求めたいこと、似ているところ、違うところを明らかにする。)					
		[問題] パックの牛にゅうが0.6Lありました。ケーキをつくるのに、0.2L使いました。パックの牛にゅうは、何Lになったでしょう。 ・ 昨日は合わせたのでたし算だったけど、今日は「使いました。」だから牛にゅうは減るのでひき算です。式は0.6－0.2です。 ・ これまでのひき算とちがって、今日は小数から小数をひきます。					
考える	自分の考えをもつことができる。	2. 課題をつかむ。 [課題] 小数－小数の計算の仕方を考えよう。					
		3. 課題をもとに自分の考えをもつ。 〈解決の見当をつける〉 ・ たしざんの時のように、6と2になると計算ができる。 → (操作しながら考えられるように一人一人に面積図を配布し、線分図につなげて確認する。)		3. 課題をもとに自分の考えをもつ。 〈解決の見当をつける〉 ・ 前の時間のように線分図をかいてやってみよう。 4. 交流する。 → (考えがもてない児童には線分図を配布する。)		3. 課題をもとに自分の考えをもつ。 〈個人追究〉 ・ 前時のように0.1のいくつ分で考えられそうだ。 → (前時の学習から、言葉で説明するように促す。)	
深める	既習の考えを生かして問題を解決することができる。	4. 交流する。  0.6は0.1が6つ分、0.2は0.1が2つ分だから、6－2で計算ができます。6－2＝4だけど、これは0.1が4つ分なので、答えは0.4です。  (式) 0.6-0.2=0.4 答え、0.4L		0.6は0.1が6つ分、0.2は0.1が2つ分だから、6－2で計算ができます。6－2＝4だけど、これは0.1が4つ分なので、答えは0.4です。 0.6-0.2=0.4 答え、0.4L 		0.6は0.1が6つ分、0.2は0.1が2つ分だから、6－2で計算ができます。6－2＝4だけど、これは0.1が4つ分なので、答えは0.4です。 0.6-0.2=0.4 答え、0.4L 	
		5. 確かめる。 [4] 1.2－0.7の計算のしかたを考えましょう。 [りんご問題] 1－0.3の計算をしましょう。		5. 確かめる。 [4] 1.2－0.7の計算のしかたを考えましょう。 [りんご問題] 1－0.3の計算をしましょう。		5. 確かめる。 [4] 1.2－0.7の計算のしかたを考えましょう。 [りんご問題] 1－0.3の計算をしましょう。	
まとめる	練習問題を解くことができる。 本時の学習を振り返ることができる。	[4] 1.2－0.7の計算のしかたを考えましょう。  1.2は0.1が12こ分、0.7は0.1が7こ分だから、1.2－0.7は12－7で計算ができます。12－7＝5だけど、これは0.1が5つ分なので、答えは0.5です。 1.2-0.7=0.5		〈個人追究〉 → (考えがもてない児童には1.2や1が書かれた線分図のプリントを渡す。)  1.2-0.7=0.5  1-0.3=0.7		〈個人追究〉 → (考えがもてたらペアに話ができるように声をかける。) [4] 1.2は0.1が12こ分、0.7は0.1が7こ分だから、1.2－0.7は12－7で計算ができます。12－7＝5だけど、これは0.1が5つ分なので、答えは0.5です。だから1.2-0.7=0.5です。 [りんご問題] 1は0.1が10こ分、0.3は0.1が3こ分だから、1－0.3は10－3で計算ができます。10－3＝7だけど、これは0.1が7こ分なので、答えは0.7です。だから1-0.3=0.7です。	
		[りんご問題] 1－0.3の計算をしましょう。  1は0.1が10こ分、0.3は0.1が3こ分だから、1－0.3は10－3で計算ができます。10－3＝7だけど、これは0.1が7こ分なので、答えは0.7です。 1-0.3=0.7		[4] 1.2は0.1が12こ分、0.7は0.1が7こ分だから、1.2－0.7は12－7で計算ができます。12－7＝5だけど、これは0.1が5つ分なので、答えは0.5です。 [りんご問題] 1は0.1が10こ分、0.3は0.1が3こ分だから、1－0.3は10－3で計算ができます。10－3＝7だけど、これは0.1が7こ分なので、答えは0.7です。 1-0.3=0.7		[4] 1.2は0.1が12こ分、0.7は0.1が7こ分だから、1.2－0.7は12－7で計算ができます。12－7＝5だけど、これは0.1が5つ分なので、答えは0.5です。だから1.2-0.7=0.5です。 [りんご問題] 1は0.1が10こ分、0.3は0.1が3こ分だから、1－0.3は10－3で計算ができます。10－3＝7だけど、これは0.1が7こ分なので、答えは0.7です。だから1-0.3=0.7です。	
		6. まとめる。 [まとめ] 小数のひき算もたし算と同じように0.1のいくつ分で考えて、これまでのひき算と同じように計算すればよい。					
		7. 練習問題に取り組む。 P29鉛筆2 → (1枚の問題数を少なくし、意欲的に取り組めるようにする。)		7. 練習問題に取り組む。 P29鉛筆2 → (教師が確認しながら進める。)		7. 練習問題に取り組む。 P29鉛筆2 P111② → (自分で答え合わせをしながら進め、数多く問題を解けるようにする。)	
		8. 振り返る。(自己評価する)		8. 振り返る。(自己評価する)		8. 振り返る。(自己評価する)	

評価規準 【数学的な考え方】 単位小数のいくつ分に着目して小数の減法を考え、説明することができる。
※ 人権同和教育の観点：計算方法を考える際に、面積図や線分図等を使ったり言葉を書いたりして、0.1を基にすれば整数のひき算で計算できることを説明できるようにする。(認識力)



$$\frac{3}{5} \quad \frac{1}{5} \quad \frac{4}{5} \quad \text{—}$$



算数「小数」 ふりかえり表



3年 組 番 名前

(◎ ○ △)

時	日	分かった	挙手回数	話し方名人	聞き方名人	今日学んだこと
1						
2						
3						
4						
5						
6						

3年 組 名前

時	日	分かった	挙手回数	話し方名人	聞き方名人	今日学んだこと
7						
8						
9						
10						

「話し方」・「聴き方」名人

わかりやすく

「わけは、～だからです。」
「〇〇を使って話します。」
「前で話します。」

うなずいて聴く

「ここまでいいですか。」
「はじめに～、つぎに～、だから～。」

「どの考えからとも言えるのは、～ということです。」
「みんなの考えをまとめると～」

「～さんと同じで～です。」
「～さんにつけたしで～です。」
「～さんとちがって～だと思えます。」

友達とかかわって

聞(き)こえるこえでさいごまで
話し手ての方をむいて くるピタ